# 俳句のきまりと有名な俳句

俳句は「五・七・五」の17音で、季語を1つ入れて作ります。

## 俳句のきまり

① 五・七・五の17音で作る（小さい「ゃ・ゅ・ょ」は前の字といっしょに1音、のばす音「ー」や「っ」は1音と数える）。

② 季節を表すことば（季語）を1つ入れる。

## 有名な俳句と季語

菜の花や月は東に日は西に　（与謝蕪村）　季語：菜の花・春

古池や蛙飛びこむ水の音　（松尾芭蕉）　季語：蛙・春

閑かさや岩にしみ入る蝉の声　（松尾芭蕉）　季語：蝉・夏

五月雨をあつめて早し最上川　（松尾芭蕉）　季語：五月雨・夏

柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺　（正岡子規）　季語：柿・秋

名月や池をめぐりて夜もすがら　（松尾芭蕉）　季語：名月・秋

いくたびも雪の深さを尋ねけり　（正岡子規）　季語：雪・冬

是がまあつひの栖か雪五尺　（小林一茶）　季語：雪・冬